

2025年8月25日

各 位

H.U.グループホールディングス株式会社

神経疾患関連領域の研究用試薬を用いた 血液バイオマーカーの研究受託サービス開始について

当社の連結子会社である株式会社エスアルエル（本社：東京都港区、代表取締役社長：松本 誠、以下「SRL」）は、このたび、同じく当社の連結子会社である富士レビオ・ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：石川 剛生）傘下の富士レビオ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：藤田 健、以下「富士レビオ」）が提供する全自動化学発光酵素免疫測定システム「ルミパルス®G1200」および「ルミパルス®G600Ⅱ」で使用する神経疾患関連領域の血液バイオマーカーを測定する研究用試薬を用いた研究受託サービスを開始しますのでお知らせします。

リン酸化タウ 217 (pTau217) およびニューロフィラメント軽鎖 (NfL) の受託から開始し、準備が整い次第、順次測定項目を拡充してまいります。

アルツハイマー病を含む神経疾患関連領域の血液バイオマーカー測定試薬は、検体採取における被検者への侵襲性を低減させるとともに、簡便に検査を行えることから、より広く検査の機会を提供できるものとして期待されています。

SRLによる本サービスの開始により、富士レビオが販売する研究用試薬への迅速なアクセスが可能となることで、同疾患に関する研究開発の推進に一層貢献してまいります。

<注意事項>

- 本受託サービスは、研究を目的としたサービスです。ヒト、動物への医療、臨床診断用には使用しないようご注意ください。
- 本ニュースリリースを含む当社のニュースリリースに記載されているサービス、医薬品、医療機器の情報は、当社の経営情報の開示を目的とするものであり、それぞれが開発中のものを含むいかなるサービス、医薬品、医療機器の宣伝、広告を目的とするものではありません。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

広報/サステナビリティ部 広報課 TEL : 03-6279-0884 e-mail : pr@hugp.com